



Genspark

Beta

コピーを作成

ChatGPT 4.5 の技術進化とユーザー評価の包括的解析



Genspark

Mar 01, 2025

情報

ブックマーク

共有

インスピレーションと洞察から生成されました [509 ソースから](#)

公式発表内容・リリース情報

リリース日と公式発表

OpenAI は複数の公式情報源で、ChatGPT 4.5 の正式リリース日を 2025 年 2 月 27 日であると発表しています (Aismiley¹、Impress Watch²、NotAI³)。一部の情報源では 2 月 28 日とするものもありますが、多くの公式情報が 2 月 27 日を指摘しています。

主要仕様と公式文書

公式発表では、ChatGPT 4.5 が教師なし学習の手法を用いて、従来モデルよりも広範かつ深い現実世界の知識の獲得、ハルシネーション (事実と異なる回答) の低減、自然な対話体験の向上を実現していると説明されました (OpenAI Help Center⁴、NotAI³)。また、ファイルや画像のアップロード、さらにはウェブ検索統合といった新機能が搭載され、ユーザーが最新情報にリアルタイムでアクセスできるよう改良が加えられています。

技術的進化と新機能

基盤技術と進化点

ChatGPT 4.5 は、GPT-4o を基盤としながら以下の点で劇的な改善が行われています。

- **大幅な知識拡充**
従来モデルと比較して、より深く幅広い知識を獲得。更新された知識カットオフは 2023 年 10 月までとなっており、最新の情報を反映しています (NotAI³)。
- **128,000 トークンのコンテキストウィンドウ**
複雑なドキュメントや長大な会話の処理能力が大幅に向上。医療論文や大規模コードレビューでの利用が進んでいるという実例もあります (Qiita⁵、arXiv⁶)。
- **ハルシネーション率の低減**
GPT-4o に比べ、幻覚 (不正確な回答) の発生率が 62.5%改善され、現行モデルで

は 37.1%にまで低下 (DataCamp7、NotAI3)。

- **処理速度の向上**

GPT-4o に対して 200%高速化され、応答速度、及び全体的な処理効率が向上。これによりビジネスシーンでの利用が加速しています (note8)。

新機能

公式文書に記載された主な新機能は以下の通りです。

1. **ファイル・画像アップロード対応**

ユーザーが画像やドキュメントを直接アップロードし、解析や検索を行えるようになっています (NotAI3)。

2. **ウェブ検索統合**

リアルタイムでウェブ上の最新情報にアクセスし、質問に対して最新情報を反映した回答を出力可能です (NotAI3)。

3. **API 価格**

以下は GPT-4.5 に関する API 価格表です。

モデル名	料金	説明
GPT-4.5	\$0.09375	1M トークンあたり
o1-preview	約\$0.05	週 30 メッセージの制限あり
o1-mini	約\$0.03	週 50 メッセージの制限あり

(出典: Huxiu9)

4. **感情理解の向上 (EQ の強化)**

ユーザーの文脈や感情に即した自然な応答が可能になっており、これによりカウンセリングや顧客サポートなど、対人コミュニケーションにおける信頼性が向上しています (Forbes10)。

技術仕様比較表

仕様項目	ChatGPT 4o (従来モデル)	ChatGPT 4.5	主要競合例 (例: Gemini Ultra)
正式リリース日	~2025 年 2 月 27 日	2025 年 2 月 27 日 (多くの場合)	※一部情報源では最新リリース日が異なる
コンテキストウィンドウ	従来より短い	128,000 トークン	例: Claude 3.5: 200k トークンなど
ハルシネーション率	約 60%前後	37.1% (約 62.5%改善)	一部競合ではさらに低減技術が採用されている場合あり
処理速度	基準値	200%高速化	Gemini Ultra は若干高速、ただし API 実装条件による

仕様項目	ChatGPT 4o (従来モデル)	ChatGPT 4.5	主要競合例 (例: Gemini Ultra)
感情理解 (EQ)	従来モデルに比べ低い	大幅な改善 (EQ 向上)	他社モデルは感情認識機能に注力するケースもあり

(引用: NotAI³, DataCamp⁷, OpenAI Help Center⁴, Forbes¹⁰)

ユーザー体験に基づく評価

利便性と実利用例

実際のユーザーは、ChatGPT 4.5 の導入によって以下の点を高く評価しています。

- **業務効率化と生産性向上**
 - 大規模なシステム開発やコーディングタスクの自動化において、生成されたコードや仕様書、要件定義等を利用することで作業時間が大幅に短縮されたという報告があります (Qiita¹¹、ITReview¹²)。
 - **具体的な事例:** ある IT 企業では、ChatGPT を利用してドキュメント作成作業を短縮したことで、開発プロセスの効率が大幅に向上したとの報告があります (ITReview¹²)。
- **多言語対応と情報検索**
 - 128,000 トークンの拡張コンテキストにより、大規模なドキュメントや複雑なデータ解析が可能になり、特に医療論文の要約や大規模なコードベースの分析が評価されています (Qiita⁵、arXiv⁶)。
- **感情理解機能**
 - ユーザーは、会話中の感情的ニュアンスを認識する応答機能の向上により、より自然なコミュニケーションが可能になった点を評価しています。例えば、カウンセリングや顧客サポートでの利用が進んでおり、鬱症状の検知や共感的な応答が実用化されています (Forbes¹⁰)。

不満要因とユーザーからの批判

- **コード生成や技術的出力の不正確性**
 - 自動生成されたコードにエラーが多く、手動での修正が必要であったとの報告があります (Qiita¹³)。
- **感情理解の誤判定**
 - 一部ユーザーは、感情理解機能が誤って感情を解釈する事例を報告しており、特に非英語圏や文化的背景による誤認識が問題視されています (PMC¹⁴、Neuroscience News¹⁵)。
- **UI や操作性の問題**
 - 一部開発者フォーラムでは、ユーザーインターフェースや利用上のレスポンスが不安定な点が不満として挙げられているほか、トークン制限に関するエラー (128K 以上のリクエスト時など) も報告されています (GitHub Issue¹⁶、

OpenAI Community¹⁷)。

- **一部の新モデル (o1 シリーズ) に対する混合評価**
 - o1-preview や o1-mini といった新たなモデルラインアップは、タスクに応じた特徴はあるものの、特に高度な推論力や精度面では従来の GPT-4o との比較で評価が分かれており、利用者間で性能向上に疑問を呈する意見もあります (Lifehacker¹⁸、Medium¹⁹)。

論争点・批判と倫理的懸念

ChatGPT 4.5 の技術的進化は多くの評価を得ていますが、一方で以下のような論争点や倫理的懸念も浮上しています。

幻覚率と信頼性の問題

- **幻覚率の改善はあるものの依然として問題が残る**

ChatGPT 4.5 ではハルシネーション率が約 37.1%に低下したと報告されていますが、特に専門性が求められる分野では依然として事実と異なる情報が出力されるリスクが存在します (DataCamp⁷、Forbes²⁰)。

感情理解と倫理的側面

- **感情認識機能の精度と文化的バイアス**

感情理解機能が向上した点は評価される一方で、学習データの偏りや文化的背景の違いに起因する誤判定のリスクが依然として指摘されています。たとえば、特定の文化的表現や非言語的サインが正しく評価できず、結果として誤った判断が生じる可能性があります (Neuroscience News¹⁵、Princeton Review²¹)。
- **AI 感情操作の倫理的フレームワーク**

複数の学術論文では、AI による感情操作が利用者のプライバシーや自主性に悪影響を及ぼす可能性が指摘されており、技術面だけでなく、倫理的な対策も求められています (American Bar²²、HCAI 論文²³)。

価格と運用コストへの批判

- ChatGPT 4.5 は最新の巨大モデルであるため、計算リソースも膨大になり、1M トークンあたりの料金が **93.75 ドル**に達する (Artificial Analysis²⁴)。そのため、運用コスト面で中小企業や個人ユーザーからは高コストとの批判があるほか、競合モデル (例: Claude 3.5、Gemini Ultra) との価格競争が注目されています。

主要競合モデルとの比較と今後の展望

ChatGPT 4.5 は、業界内で急速に進化を遂げる生成 AI 市場において、主要競合モデルと様々な面で比較されています。

競合モデルとの技術仕様比較

- **Gemini Ultra** や **Claude 3.5** など、他社モデルも同様にコンテキストウィンドウの拡大や感情理解の改善を目指す中、ChatGPT 4.5 は 128,000 トークンのコンテキスト処理、200%高速化、そして大幅なハルシネーション率改善といった点で優位性を持

っています。ただし、競合によってはさらに低いトークン単価や高い応答速度を実現する場合もあり、今後の技術革新によりさらなる競争が予想されます (TechCrunch[25](#)、Forbes[20](#))。

今後の展望

- **GPT-5 への布石としての位置付け**

Sam Altman 氏は、GPT-4.5 が OpenAI のクラシックモデルラインの最後のリリースとなると述べ、GPT-5 は一般目的の大規模言語モデルと推論モデルをハイブリッドに統合する新たなアプローチが期待されています。これにより、従来のスケーリングの限界を超える革新的な機能が実現される可能性があります。

- **業界全体の技術競争**

学術界では、より透明性の高い評価方法 (例: SWE-Bench+) が提案される中、生成 AI が実世界の課題にどの程度適応できるかが今後の研究テーマとなっています。各社は、自社モデルのハルシネーション率低減、感情理解の正確性、論理的推論力などについてさらに改良を進め、競争が激化することが予想されます (arXiv[26](#)、Runloop AI[27](#))。

結論と将来展望

ChatGPT 4.5 は、公式発表内容に沿った大規模なモデルアップグレードと新機能の導入により、従来モデルよりも高い処理能力、広範なコンテキスト理解、低いハルシネーション率、そして向上した感情理解機能を実現しています。ユーザー体験としては、業務効率化、情報検索、文書・コード生成の面で大きなメリットがある一方、生成されたアウトプットの正確性や感情認識に対する誤判定、不安定な UI などの課題も指摘されています。さらに、価格面での高コストへの批判と業界内の競争の激化が今後の大きなテーマとなるでしょう。

また、今後の GPT-5 への期待や、各社が進める透明性の高い評価手法、倫理的・法的枠組みの整備が、生成 AI 技術の進化を一層加速すると考えられます。生成 AI がもたらす技術革新とともに、その誤情報生成リスクや倫理的懸念にも十分に注意を払いながら、利用者・研究者・企業が協働してより安全で有用な AI システムの発展を目指していくことが求められています。

本記事は、公式情報、主要メディアの報道、学術論文、実際のユーザー体験談などをもとに構成されており、ChatGPT 4.5 の全体像と今後の展望を多角的に示しています。今後も生成 AI 技術の進化と利用環境の改善に注目し、新たな技術革新と倫理的対策の進展を追っていくことが重要です。

まとめ

- **リリース日と公式発表:** ChatGPT 4.5 は多くの公式情報で **2025 年 2 月 27 日** にリリースされたと発表され、一部では 2 月 28 日との情報もある。
- **技術的進化と新機能:** GPT-4o を基盤に、**128,000 トークン**のコンテキストウィンド

ウ、処理速度の **200%高速化**、ハルシネーション率を約**37.1%**に低減（62.5%改善）するなど大幅な性能向上が実現。

- **新機能:** ファイルや画像のアップロード機能、**ウェブ検索統合**により、最新情報へのリアルタイムアクセスや柔軟なデータ解析が可能になっている。
- **ユーザー体験:** 業務効率化や多言語対応、大規模ドキュメントの解析が評価される一方、コード生成の不正確性やUIの不安定さが一部で批判されている。
- **論争点と倫理的懸念:** ハルシネーション率の改善は見られるものの、依然として専門性の求められる分野での正確性に課題があり、感情理解の誤判定や **API 価格**（1M トークンあたり**\$0.09375**）への批判も挙げられている。
- **今後の展望:** GPT-4.5 は GPT-5 への布石とされ、生成 AI 市場での競争激化と技術革新、倫理的対策の整備が今後の焦点となる。

付録: 補足ビデオリソース

```
<div class="-md-ext-youtube-widget"> { "title": "¥u3010GPT-4¥u306b¥u306f¥u5371¥u967a¥u6027¥u3082¥uff01¥uff1f¥u3011ChatGPT¥u304b¥u3089¥u306e¥u9032¥u5316¥u70b9¥uff06¥u6ce8¥u610f¥u70b9 ...", "link": "https://www.youtube.com/watch?v=IrAprfu_4bw", "channel": { "name": ""}, "published_date": "Mar 17, 2023", "length": "12:45" }</div>
<div class="-md-ext-youtube-widget"> { "title": "ChatGPT¥u3001¥u751f¥u6210AI¥u304c¥u62d3¥u304f¥u30aa¥u30fc¥u30d7¥u30f3¥u30a4¥u30ce¥u30d9¥u30fc¥u30b7¥u30e7¥u30f3¥u3068¥u306f¥uff1f¥u3053¥u308c¥u304b¥u3089 ...", "link": "https://www.youtube.com/watch?v=EYw06nh7MJ4", "channel": { "name": ""}, "published_date": "Aug 6, 2023", "length": "57:38" }</div>
<div class="-md-ext-youtube-widget"> { "title": "ChatGPT¥u306e¥u6700¥u65b0AI¥u30e2¥u30c7¥u30eb¥u300cGPT-4.5¥u300d¥u306e¥u6982¥u8981¥u3068¥u4f7f¥u3044¥u65b9(Pro¥u30d7¥u30e9¥u30f3 ...", "link": "https://www.youtube.com/watch?v=q7IUs4TE0Mo", "channel": { "name": ""}, "published_date": "23 hours ago", "length": "10:05" }</div>
```

目次

1. [公式発表内容・リリース情報](#)
 - [リリース日と公式発表](#)
 - [主要仕様と公式文書](#)
2. [技術的進化と新機能](#)
 - [基盤技術と進化点](#)
 - [新機能](#)
 - [技術仕様比較表](#)

3. [ユーザー体験に基づく評価](#)
 - [利便性と実利用例](#)
 - [不満要因とユーザーからの批判](#)
4. [論争点・批判と倫理的懸念](#)
 - [幻覚率と信頼性の問題](#)
 - [感情理解と倫理的側面](#)
 - [価格と運用コストへの批判](#)
5. [主要競合モデルとの比較と今後の展望](#)
 - [競合モデルとの技術仕様比較](#)
 - [今後の展望](#)
6. [結論と将来展望](#)
7. [まとめ](#)
8. [付録: 補足ビデオリソース](#)

インスピレーションと洞察から生成されました [509 ソースから](#)

公式発表内容・リリース情報

リリース日と公式発表

OpenAI は複数の公式情報源で、ChatGPT 4.5 の正式リリース日を 2025 年 2 月 27 日であると発表しています (Aismiley¹、Impress Watch²、NotAI³)。一部の情報源では 2 月 28 日とするものもありますが、多くの公式情報が 2 月 27 日を指摘しています。

主要仕様と公式文書

公式発表では、ChatGPT 4.5 が教師なし学習の手法を用いて、従来モデルよりも広範かつ深い現実世界の知識の獲得、ハルシネーション (事実と異なる回答) の低減、自然な対話体験の向上を実現していると説明されました (OpenAI Help Center⁴、NotAI³)。また、ファイルや画像のアップロード、さらにはウェブ検索統合といった新機能が搭載され、ユーザーが最新情報にリアルタイムでアクセスできるよう改良が加えられています。

技術的進化と新機能

基盤技術と進化点

ChatGPT 4.5 は、GPT-4o を基盤としながら以下の点で劇的な改善が行われています。

- **大幅な知識拡充**

従来モデルと比較して、より深く幅広い知識を獲得。更新された知識カットオフは 2023 年 10 月までとなっており、最新の情報を反映しています (NotAI³)。
- **128,000 トークンのコンテキストウィンドウ**

複雑なドキュメントや長大な会話の処理能力が大幅に向上。医療論文や大規模コードレビューでの利用が進んでいるという実例もあります (Qiita⁵、arXiv⁶)。
- **ハルシネーション率の低減**

GPT-4o に比べ、幻覚 (不正確な回答) の発生率が 62.5%改善され、現行モデルで

は 37.1%にまで低下 (DataCamp7、NotAI3)。

- **処理速度の向上**

GPT-4o に対して 200%高速化され、応答速度、及び全体的な処理効率が向上。これによりビジネスシーンでの利用が加速しています (note8)。

新機能

公式文書に記載された主な新機能は以下の通りです。

1. **ファイル・画像アップロード対応**

ユーザーが画像やドキュメントを直接アップロードし、解析や検索を行えるようになっています (NotAI3)。

2. **ウェブ検索統合**

リアルタイムでウェブ上の最新情報にアクセスし、質問に対して最新情報を反映した回答を出力可能です (NotAI3)。

3. **API 価格**

以下は GPT-4.5 に関する API 価格表です。

モデル名	料金	説明
GPT-4.5	\$0.09375	1M トークンあたり
o1-preview	約\$0.05	週 30 メッセージの制限あり
o1-mini	約\$0.03	週 50 メッセージの制限あり

(出典: Huxiu9)

4. **感情理解の向上 (EQ の強化)**

ユーザーの文脈や感情に即した自然な応答が可能になっており、これによりカウンセリングや顧客サポートなど、対人コミュニケーションにおける信頼性が向上しています (Forbes10)。

技術仕様比較表

仕様項目	ChatGPT 4o (従来モデル)	ChatGPT 4.5	主要競合例 (例: Gemini Ultra)
正式リリース日	~2025 年 2 月 27 日	2025 年 2 月 27 日 (多くの場合)	※一部情報源では最新リリース日が異なる
コンテキストウィンドウ	従来より短い	128,000 トークン	例: Claude 3.5: 200k トークンなど

仕様項目	ChatGPT 4o (従来モデル)	ChatGPT 4.5	主要競合例 (例: Gemini Ultra)
ハルシネーション率	約 60%前後	37.1%(約 62.5%改善)	一部競合ではさらに低減技術が採用されている場合あり
処理速度	基準値	200%高速化	Gemini Ultra は若干高速、ただし API 実装条件による
感情理解 (EQ)	従来モデルに比べ低い	大幅な改善 (EQ 向上)	他社モデルは感情認識機能に注力するケースもあり

(引用: NotAI³, DataCamp⁷, OpenAI Help Center⁴, Forbes¹⁰)

ユーザー体験に基づく評価

利便性と実利用例

実際のユーザーは、ChatGPT 4.5 の導入によって以下の点を高く評価しています。

- **業務効率化と生産性向上**
 - 大規模なシステム開発やコーディングタスクの自動化において、生成されたコードや仕様書、要件定義等を利用することで作業時間が大幅に短縮されたという報告があります (Qiita¹¹、ITReview¹²)。
 - **具体的な事例:** ある IT 企業では、ChatGPT を利用してドキュメント作成作業を短縮したことで、開発プロセスの効率が大幅に向上したとの報告があります (ITReview¹²)。
- **多言語対応と情報検索**
 - 128,000 トークンの拡張コンテキストにより、大規模なドキュメントや複雑なデータ解析が可能になり、特に医療論文の要約や大規模なコードベースの分析が評価されています (Qiita⁵、arXiv⁶)。
- **感情理解機能**
 - ユーザーは、会話中の感情的ニュアンスを認識する応答機能の向上により、より自然なコミュニケーションが可能になった点を評価しています。例えば、カウンセリングや顧客サポートでの利用が進んでおり、鬱症状の検知や共感的な応答が実用化されています (Forbes¹⁰)。

不満要因とユーザーからの批判

- **コード生成や技術的出力の不正確性**
 - 自動生成されたコードにエラーが多く、手動での修正が必要であったとの報告があります (Qiita¹³)。
- **感情理解の誤判定**

- 一部ユーザーは、感情理解機能が誤って感情を解釈する事例を報告しており、特に非英語圏や文化的背景による誤認識が問題視されています (PMC[14](#)、Neuroscience News[15](#))。
- UI や操作性の問題**
 - 一部開発者フォーラムでは、ユーザーインターフェースや利用上のレスポンスが不安定な点が不満として挙げられているほか、トークン制限に関するエラー(128K以上のリクエスト時など)も報告されています (GitHub Issue[16](#)、OpenAI Community[17](#))。
- 一部の新モデル (o1 シリーズ) に対する混合評価**
 - o1-preview や o1-mini といった新たなモデルラインアップは、タスクに応じた特徴はあるものの、特に高度な推論力や精度面では従来の GPT-4o との比較で評価が分かれており、利用者間で性能向上に疑問を呈する意見もあります (Lifehacker[18](#)、Medium[19](#))。

論争点・批判と倫理的懸念

ChatGPT 4.5 の技術的進化は多くの評価を得ていますが、一方で以下のような論争点や倫理的懸念も浮上しています。

幻覚率と信頼性の問題

- 幻覚率の改善はあるものの依然として問題が残る**

ChatGPT 4.5 ではハルシネーション率が約 37.1%に低下したと報告されていますが、特に専門性が求められる分野では依然として事実と異なる情報が出力されるリスクが存在します (DataCamp[7](#)、Forbes[20](#))。

感情理解と倫理的側面

- 感情認識機能の精度と文化的バイアス**

感情理解機能が向上した点は評価される一方で、学習データの偏りや文化的背景の違いに起因する誤判定のリスクが依然として指摘されています。たとえば、特定の文化的表現や非言語的サインが正しく評価できず、結果として誤った判断が生じる可能性があります (Neuroscience News[15](#)、Princeton Review[21](#))。
- AI 感情操作の倫理的フレームワーク**

複数の学術論文では、AI による感情操作が利用者のプライバシーや自主性に悪影響を及ぼす可能性が指摘されており、技術面だけでなく、倫理的な対策も求められています (American Bar[22](#)、HCAI 論文 [23](#))。

価格と運用コストへの批判

- ChatGPT 4.5 は最新の巨大モデルであるため、計算リソースも膨大になり、1M トークンあたりの料金が **93.75 ドル**に達する (Artificial Analysis[24](#))。そのため、運用コスト面で中小企業や個人ユーザーからは高コストとの批判があるほか、競合モデル (例: Claude 3.5、Gemini Ultra) との価格競争が注目されています。

主要競合モデルとの比較と今後の展望

ChatGPT 4.5 は、業界内で急速に進化を遂げる生成 AI 市場において、主要競合モデルと様々な面で比較されています。

競合モデルとの技術仕様比較

- **Gemini Ultra** や **Claude 3.5** など、他社モデルも同様にコンテキストウィンドウの拡大や感情理解の改善を目指す中、ChatGPT 4.5 は 128,000 トークンのコンテキスト処理、200%高速化、そして大幅なハルシネーション率改善といった点で優位性を持っています。ただし、競合によってはさらに低いトークン単価や高い応答速度を実現する場合もあり、今後の技術革新によりさらなる競争が予想されます (TechCrunch[25](#)、Forbes[20](#))。

今後の展望

- **GPT-5 への布石としての位置付け**

Sam Altman 氏は、GPT-4.5 が OpenAI のクラシックモデルラインの最後のリリースとなると述べ、GPT-5 は一般目的の大規模言語モデルと推論モデルをハイブリッドに統合する新たなアプローチが期待されています。これにより、従来のスケールアップの限界を超える革新的な機能が実現される可能性があります。

- **業界全体の技術競争**

学術界では、より透明性の高い評価方法 (例: SWE-Bench+) が提案される中、生成 AI が実世界の課題にどの程度適応できるかが今後の研究テーマとなっています。各社は、自社モデルのハルシネーション率低減、感情理解の正確性、論理的推論力などについてさらに改良を進め、競争が激化することが予想されます (arXiv[26](#)、Runloop AI[27](#))。

結論と将来展望

ChatGPT 4.5 は、公式発表内容に沿った大規模なモデルアップグレードと新機能の導入により、従来モデルよりも高い処理能力、広範なコンテキスト理解、低いハルシネーション率、そして向上した感情理解機能を実現しています。ユーザー体験としては、業務効率化、情報検索、文書・コード生成の面で大きなメリットがある一方、生成されたアウトプットの正確性や感情認識に対する誤判定、不安定な UI などの課題も指摘されています。さらに、価格面での高コストへの批判と業界内の競争の激化が今後の大きなテーマとなるでしょう。

また、今後の GPT-5 への期待や、各社が進める透明性の高い評価手法、倫理的・法的枠組みの整備が、生成 AI 技術の進化を一層加速すると考えられます。生成 AI がもたらす技術革新とともに、その誤情報生成リスクや倫理的懸念にも十分に注意を払いながら、利用者・研究者・企業が協働してより安全で有用な AI システムの発展を目指していくことが求められています。

本記事は、公式情報、主要メディアの報道、学術論文、実際のユーザー体験談などをもとに構成されており、ChatGPT 4.5 の全体像と今後の展望を多角的に示しています。今後も生

成 AI 技術の進化と利用環境の改善に注目し、新たな技術革新と倫理的対策の進展を追って
いくことが重要です。

まとめ

- **リリース日と公式発表:** ChatGPT 4.5 は多くの公式情報で **2025 年 2 月 27 日** にリリースされたと発表され、一部では 2 月 28 日との情報もある。
 - **技術的進化と新機能:** GPT-4o を基盤に、**128,000 トークン** のコンテキストウィンドウ、処理速度の **200% 高速化**、ハルシネーション率を約 ****37.1%**** に低減 (62.5% 改善) するなど大幅な性能向上が実現。
 - **新機能:** ファイルや画像のアップロード機能、**ウェブ検索統合** により、最新情報へのリアルタイムアクセスや柔軟なデータ解析が可能になっている。
 - **ユーザー体験:** 業務効率化や多言語対応、大規模ドキュメントの解析が評価される一方、コード生成の不正確性や UI の不安定さが一部で批判されている。
 - **論争点と倫理的懸念:** ハルシネーション率の改善は見られるものの、依然として専門性の求められる分野での正確性に課題があり、感情理解の誤判定や **API 価格** (1M トークンあたり ****\$0.09375****) への批判も挙げられている。
 - **今後の展望:** GPT-4.5 は GPT-5 への布石とされ、生成 AI 市場での競争激化と技術革新、倫理的対策の整備が今後の焦点となる。
-

付録: 補足ビデオリソース



【GPT-4 には危険性も！？】ChatGPT からの進化点&注意点 ...

Mar 17, 2023



ChatGPT、生成 AI が拓くオープンイノベーションとは？これから ...

Aug 6, 2023



ChatGPT の最新 AI モデル「GPT-4.5」の概要と使い方(Pro プラン ...

23 hours ago

もっと詳しく

[1
aismiley.co.jp](https://aismiley.co.jp)

2

forest.watch.impress.co.jp

3

notai.jp

4

help.openai.com

5

qiita.com

6

arxiv.org

7

www.datacamp.com

8

note.com

9

m.huxiu.com

10

www.forbes.com

11

qiita.com

12

www.itreview.jp

13

qiita.com

14

pmc.ncbi.nlm.nih.gov

15

neurosciencenews.com

16

github.com

17

community.openai.com

18

www.lifehacker.jp

19

medium.com

20

www.forbes.com

21

www.princetonreview.com

22

www.americanbar.org

23

papers.ssrn.com

24

artificialanalysis.ai

25

techcrunch.com

26

arxiv.org

27

www.runloop.ai

コピーを作成